歴史教科書問題から浮かび上がる戦後教育の問題点

やわらかまじめ新聞
第77号

発行者
無所属（刷新の会）
県議会議員鈴木正人
〒353-0004
志木市本町5-4-34
TEL048-476-7525
FAX048-476-7526

一度決めたものは調査不十分だと認めても変えない教育委員会

中立の名の下に民意が反映されないシステムで良いのか？

ドラマスクールウォーズの原作者で米国アナハイム在住
米国内での慰安婦の碑 設置阻止で戦う馬場信浩さんと

前回の埼玉県議会定例会では、閉会中の文教委員会の審査もあって、公立高校の歴史教科書の採択が問題となりました。

国旗・国歌法の注釈として「一部の自治体で公務員への強制の動きがある」と記されているとの記述が適当でないとの判断で、東京都と神奈川県の教育委員会は「県教委の方針と相いれない」と選定予定校に再考を促し、こうした国旗・国歌を尊重しなくとも構わないような記述がされている、実教出版という会社の教科書を選ぶ学校がなかったのであります。

もう、サッカーの国際試合でもオリンピックでも喜んで日の丸を振り、野球の試合前にでも国歌斉唱が普通にされている時代に、国旗・国歌に否定的な教科書など、我が埼玉県は東京、神奈川同様、教育委員会が突っぱねて選ばないだろうなどと油断をしておりましたら、読みが甘かったぁ。

何と埼玉県教育委員会は、県内の公立８校が問題となった教科書を申請してきた事に対して採択を認めてしまったから、大騒動となってしまったんですよ。

私も当初、教育委員会の方達を信じていたので、びっくりしてしまいましたね。

急遽、閉会中にもかかわらず、文教委員会も開かれる事となったので、当然問題となった教科書をじっくり読ませていただいたら、さらにひっくり返りそうな位の自虐史観のオンパレード。

サイパン島で激戦地を
調査し　戦没者を慰霊

酷くなる教科書の中身

我々の時代でも、自虐史観は授業でやっておりましたが、それでも聞いた事の無い、日露戦争時代の旅順虐殺。日韓併合の事は韓国廃滅。台湾割譲も台湾への侵略など、今や台湾の教科書でもそんな偏向的な記述が書かれていないのに書かれている始末。

そして定番の南京大虐殺二十万人。慰安婦強制連行謝罪。沖縄集団自決の日本軍による集団強制死など、今ではかなり検証が進んで、その事実関係がいかがわしいとされているものでも、日本の悪事であれば、どこまでもという位書かれており、最後のページでは大東亜共栄圏の加害という見開きのページがあって、そこではアジアで日本は二千万人を殺したと受け取れる記述まであったんですよ。

アジアの人達を片っ端から殺し、慰安婦を人さらいで連れていく悪の限りを尽くした日本。この教科書を読んで「日本人で良かった」と思えたら奇跡ですね。

インドネシアで四百万人の死者となっておりましたが、どうしてオランダの植民地支配を終わらせ、インドネシア独立のために終戦後も二千人の日本人が残って、現地人と共に再び植民地支配をしようとしたオランダ軍と戦った日本人が、わざわざ現地のインドネシア人を四百万人も殺さなければならないのですかね。

インドネシア独立記念日には、日本軍の格好をしたインドネシアのお爺さんやお婆さんで日本の軍歌を歌ってお祝いしたりする人もいるんですよ。

頑張れ日本！全国行動委員会
救国　街頭演説会にて訴え！

埼玉教育の問題点　歴史教科書
問題について街頭演説で語る

県政レポート2013　suzuki masato　No.77

埼玉県議会議員　無所属（刷新の会）

鈴木正人

ホームページ　http://www.trans.ne.jp/masato/

平成25年度第三回定例会を振り返って

平成26年度・「刷新の会」
の予算要望書を上田知事に提出

一般会計補正予算案・災害時に救命活動や物資輸送を行う緊急輸送道路の橋りょう耐震化の前倒し整備など可決。

今定例会では、防災拠点校や避難所に指定されている県立高校の耐震対策など63億7千円万余りの一般会計補正予算案など知事提出議案27議案と、「高校日本史教科書の再審査を求める」決議など議員提出議案8議案が可決、同意されました。

藤澤慎也議員(越谷市選出)が一般質問で竜巻被害の被災地支援や高校日本史教科書採択問題について質問

9月定例会では、私ども刷新の会では、越谷市選出の藤澤慎也議員が、「竜巻による被災者・被災地支援」について「不要・不急な１１０番通報」について「県立高校の日本史教科書採択問題」について等、１０項目に渡り質問をいたしました。

「被災者・被災地支援」については、上田知事から県独自の災害支援制度について市町村と協議をしていきたいとの答弁がありました。

また、「不要・不急な１１０番通報」については、警察本部長から「不要・不急な通報」は円滑な業務の支障となっており、検挙も含め、厳しい対応をすると共に、県民に対してより多角的な広報・啓発活動を推進するとの答弁がありました。

「日本史教科書採択問題」については、県独自に作成する指導資料集は子供達が自国の歴史や文化の良さを知り、我が国の郷土を愛する心物事を公正に判断できる力を持って成長して欲しいとの事でありました。

私達【刷新の会】は、県民目線で、県政の刷新を目指し、今後も県民の皆様に身近な県政、県議会を目指して参ります。

県議会日台友好議員連盟が台北駐日経済文化代表処を表敬訪問

埼玉県議会「日台友好議員連盟」超党派の鈴木正人（幹事長）は事実上の大使館である台北駐日経済文化代表処を表敬訪問し、東日本大震災における多額の義援金のお礼と埼玉県と台湾とのさらなる友好と交流を深めるために表敬訪問させていただきました。

日台友好の懸け橋となる

台湾の三三企業交流会の皆さんが埼玉県庁を表敬訪問

台湾の三三企業交流会の皆さんが埼玉県庁を表敬訪問し、上田知事、細田議長をはじめ「日台友好議員連盟」から田中会長と幹事長の私も同席し、意見交換をいたしました。
埼玉の中小企業には是非親日国台湾への進出をしていただきたいとの事でありました。

刷新の会・来年度予算要望の主なもの（地元問題など）

各公立小学校に小学校スクールカウンセラーを積極的に配置するなど295項目を予算要望

★教育関係

●各公立小学校に小学校スクールカウンセラーを積極的に配置するために、必要な費用を支弁する市町村に対して補助制度を創設

★保健医療部

●データヘルス計画の作成に係るシステム関連経費や人材育成経費など必要な経費について、市町村国保に対する県の調整交付金等の財政支援

★防犯・交通安全課

●ＬＥＤ防犯灯の新設、取替等に係る補助金制度の創設

★産業労働部

●緊急雇用創出基金市町村事業費補助金の継続

▼地元問題志木市

●柳瀬川の河川水位の上昇を防止するための河道掘削の実施

●中央道停車場線の本町三丁目の交差点に「歩車分離信号機」の設置

●一般国道254号和光富士見バイパス事業における志木市との連携による用地買収の迅速化と早期開通に向けた財源の確保

●あきはね通り西側の中宗岡2－19－27サンクス中宗岡店前の歩道から上宗岡4丁目交差点までのガードレール整備

●志木市柏町1－5柳瀬川土手付近の舗装道路の排水溝整備

●志木市中宗岡1‐12柳下木材脇の歩道狭小部分の歩道拡幅

●県道川越・新座線　志木大通り　志木市本町1‐1556‐10付近の歩道拡幅

●志木市上宗岡3‐1寿司一休脇への押しボタン信号の設置

※あくまでも知事への要望ですのでご理解ください。

●志木市上宗岡1‐8‐41袋橋通りへの押しボタン信号の設置

●志木市中宗岡2‐26‐4押しボタン信号の設置

●志木市上宗岡4‐27　羽根倉橋西交差点に右折用矢印信号の設置

●志木市本町4‐14　大原交差点　点滅式歩行者用信号の設置

●志木市下宗岡3‐13‐8　コインランドリー前の横断歩道に押しボタン信号の設置

●志木市上宗岡4－23－12　あきはね通りへの横断歩道設置

●宗岡第三小学校前の交差点のすぐ北側、志木市下宗岡2－11ヤオコーと下宗岡2－12のヤオコー駐車場を結ぶラインの横断歩道設置

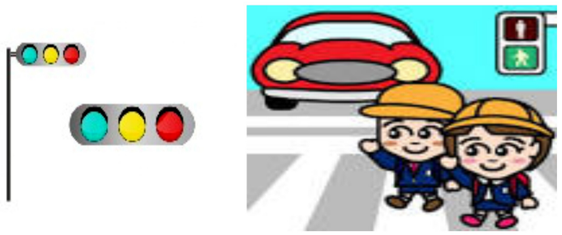
●宗岡公民館通り志木市下宗岡2－12－18から南に2－12－24まで区間で下宗岡2－15を結ぶラインの横断歩道設置

●都市計画道路中央通停車場線（本町通り）市道1193号線、本町3丁目の交差点付近から本町5丁目ユリノキ通りまでの3工区予定地域の街路整備事業の推進

●主要地方道さいたま東村山線（いろは通り）中宗岡3丁目交差点の右折レーン整備と交差点改良の早期完成

●主要地方道さいたま東村山線（いろは通り）宗岡公民館前の交差点の右折レーン整備と改良事業の早期完成

●主要地方道保谷志木線（宿通り）上宗岡2丁目交差点の改良工事の着手



最終決定権者である教育委員会が現場や事務局まかせにしている

上田政治塾が開催される

平成25年11月4日上田知事が主催する上田政治塾が開催され、議会ともやりあった県教育委員会からは吉田敬岳氏が講演。その他のゲストでは副島隆彦氏、有馬晴海氏も講演。

よくまあ、こんな一方的な自国を嫌いにさせる事を目的にしているのかと思うような教科書が文部科学省の検定を通ったと驚きましたね。

議会の最終日には私も「高校日本史（実教出版）教科書採択の再審査を求める決議」案の賛成討論をさせていただき、決議案も賛成多数で可決はいたしました。

しかし、閉会中の審査に可決された決議も含めて、二本の決議が可決されても、現在のルールでは議会に権限は全く無く、教育委員会に最終決定権限があるので、結果は議会の意向は関係なく、教育委員会の決定は変わらなかったという事だったんですよね。

空しい限りです。

結局、教職員組合員かどうかはっきりしない各学校の社会科の先生が中心となっている教科書選定委員会が決めた教科書が、各学校の校長先生も教育委員会も素通りしていったんですよ。そこに民意はありますか？今のシステム自体に問題ありだと思いますね。

実教出版で問題ないという議員さんからは、教育委員会に対する圧力だとか教育に政治が介入すべきでない、自分の考えを押しつけるなとの事でしたけど、政治的中立という名の下に教育を聖域化をしてしまった結果、今まで県議会の文教委員会で真剣に教科書採択に関して議論されてなかった事が、むしろ問題だったんだと私は思いますよ。

その結果どうなったでしょうか。一部の教員が密室で決めた教科書が各学校の校長、教育委員会の事務局を素通りし、教育委員会も事務局任せで自分達でしっかり調べず丸投げしてしまい、子供達に渡される教科書は自国に嫌悪感を持たせ、社会主義革命を目指す紅衛兵養成テキストのような自虐史観に満ちあふれた教科書になったんだと思いますね。

政治的中立などあったのか

そもそも政治的中立と言いますけど、教育は重要な政策でしょう。

トニー・ブレア英首相は、１９９７年の就任後初の記者会見で「優先すべき政策を三つ挙げてください」との記者の質問に答えて、「一にも、二にも、三にも教育だ」と言っておりましたが、祖国や地域の発展、青少年の健全育成を考えたら民意で選ばれた政治家が教育について考えて、方向性を打ち出して行くのは当然の事だと思いますね。

逆に教科書や教育委員会のあり方について現状維持で良い方達、自分の国について若者に誇りや自信を持たせたくないというのも政治的な主張があっての事だと思いますよ。

例えば、「青少年をして祖国の前途に絶望せしめる事が、革命精神養成の最良の道である」と述べたのは、ロシアの社会主義革命家レーニンなんですから。

また、戦争終結から長い年月を経ながらもいまだに自虐史観に満ち溢れた教科書が使用されているのは、政治的中立の結果ではなくて、アメリカを中心とした占領軍ＧＨＱが二度とアメリカを含めた戦勝国に刃向わせないために、教育に関する指令を出し、過去の教科書を検閲して、黒塗りにしたり、教科書の中身を変えさせた結果ですからね。

最近有名になった「ウォー・ギルト・インフォメーションプログラム」という宣伝政策にによって、占領軍は原爆投下や民間人への無差別爆撃など理不尽な事をしながらも、戦争についての罪悪感を日本人の心に植えつけ、自分達の戦時国際法違反を棚にあげさせるような宣伝をして、実際は占領時代には日本人から反論などの言論の自由を奪って都合よく洗脳した訳ですから。

お人よしだらけのわが国並びに教育界は、戦勝国による政治的都合を今でも忠実に守っているのであって、今までは国会や各首長、県議会など地方議会も政治的中立の名の下に放っておいた部分があったんですよ。

その結果、政治的中立どころか、非常に偏った自国や郷土、先人達を貶める内容のものが平然と採択されてしまっているのが現状なんですね。

教科書採択の問題点は？

委員会でじっくり審査、調査してみたら、埼玉県教育委員会の高校日本史の教科書採択は、現場の学校や教育委員会事務局任せで、最終決定権者としての教育委員会の委員は、しっかり教科書を読んでいなかった事や、事務局から重要な情報も聞かされていなかった事など、問題点も明らかになり、大変意義深い審査だったと思っておりますよ。

結果は「文部科学省の検定が通っていれば、問題なし」の一辺倒で、現状維持のまま今回の教科書問題も幕引きされてしまいましたけどね。

問題点が明らかになっても、頑固に結局一度決めた事は変えない姿勢は残念でしたね。

沖縄県 慶良間諸島の集団自決の真実について現地視察をかさねる

我々が押し付けられた戦後の歴史教育は、多面的な視点から教わるものではなく、基本は今ほど酷くはないものの、一方的な自虐史観でしたよ。

私は、子供の頃から近代史に興味があり、当時は先の大戦を戦った祖父の世代から直接話を聞く事も出来たので、あまりに自虐史観に偏った授業との違いに腹を立て、教師達と対立する場面もありましたね。

今やネットの時代。いくら一つの価値観を押し付けても、すぐに歴史的事実関係を調べる事は可能となりましたね。

明らかに事実が疑われているもの、違うものなど自虐的な歴史観の押しつけをやめて、多面的視点からの歴史教育をすべきで、その点では、白熱した議論を通じて、教育委員会とも意見は一致したと思ってますし、補助教材となる指導資料集の作成などで、多面的視点の教育をしっかりやるという事でしたよ。

是非、自国の誇りや自信になる事も、積極的に教えていただきたいものですね。